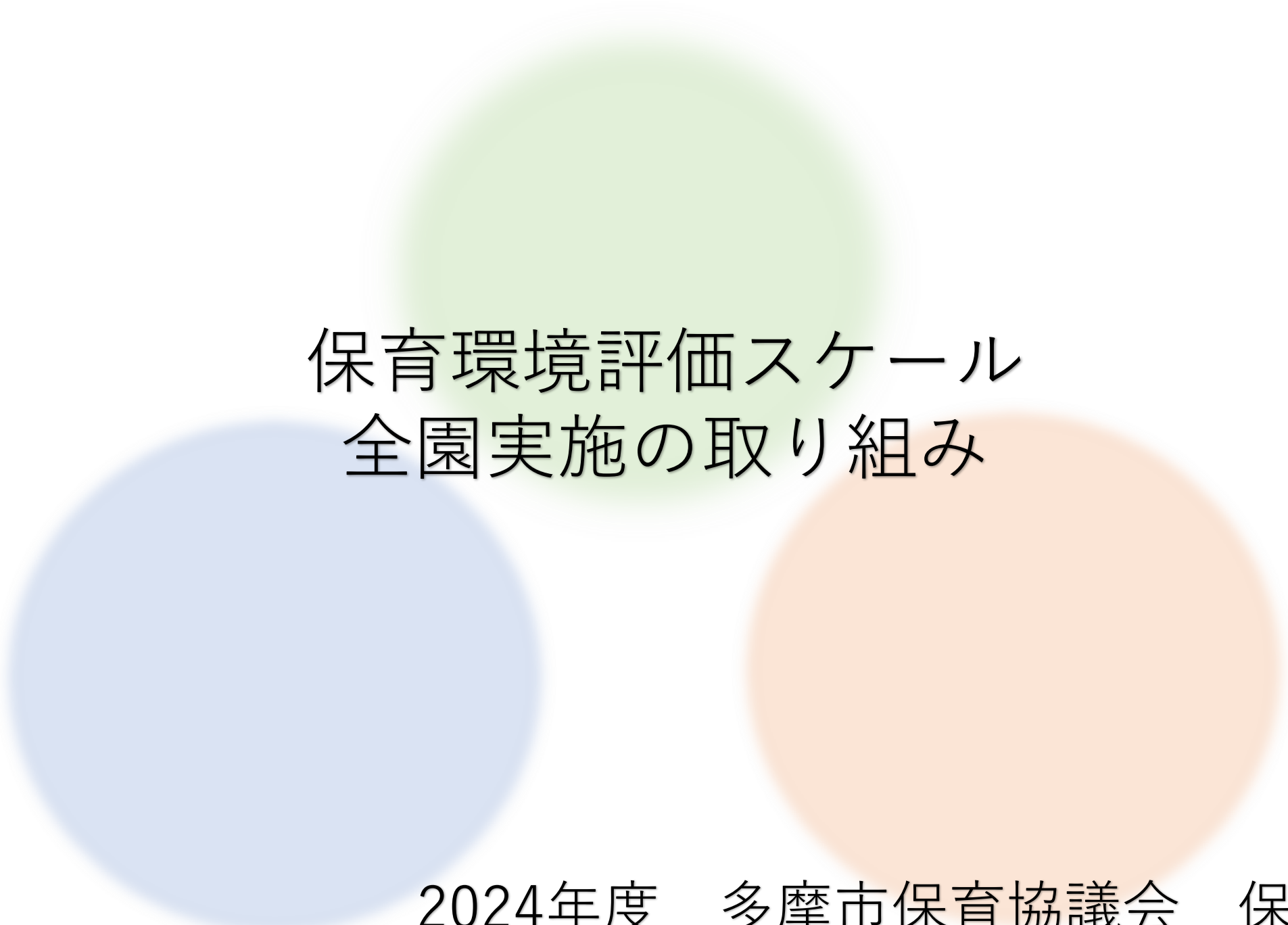




# 保育環境評価スケール 全園実施の取り組み

2024年度 多摩市保育協議会 保育士会

# 保育環境評価スケールとは？

- アメリカで開発された保育の質を測る尺度で、現在世界20か国以上で調査研究や自己評価に用いられています。多摩市保育協議会では、このスケールの翻訳者でもある埋橋玲子氏（現大阪総合保育大学 児童保育学部教授）と共に研修を重ねてきました。
- 保育室の環境構成・食事や保健衛生や安全・子どもと保育者のやりとりなど35の項目におよび客観的な指標に基づき保育の振り返りや検討を行います。
- 客観的視点に基づいて「なぜそのような保育なのか」を保育者が話し合うことは、「保育者と子どもの関わり」と「関わりを通して育まれる子どもの学びに向かう力」を保障し、自分達の保育をみつめ、保育の質の向上につながっています。

# 保育環境評価スケール乳児版

| サブスケール   | 項目                                                                                                             |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 空間と家具 | 1. 室内空間<br>2. 養護・遊び・学びのための空間<br>3. 室内構成<br>4. 子どもに関係する展示                                                       |
| 2. 養護    | 5. 食事／間食<br>6. オムツ交換／排泄<br>7. 保健衛生<br>8. 安全                                                                    |
| 3. 言葉と絵本 | 9. 子どもと話す<br>10. 語彙の拡大<br>11. 子どもからのコミュニケーションへの応答<br>12. 子どもからのコミュニケーションの促進<br>13. 保育者による絵本の使用<br>14. 絵本に親しむ環境 |
| 4. 活動    | 15. 微細運動（手や指を使う）<br>16. 造形<br>17. 音楽リズム                                                                        |

| サブスケール   | 項目                                                                                                             |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 18. 積み木<br>19. ごっこ（見立て・ふり・つもり）遊び<br>20. 自然<br>21. 数・量・形など<br>22. ICTの活用<br>23. 多様性の受容<br>24. 粗大運動（身体を大きく動かす）遊び |
| 5. 相互関係  | 25. 粗大運動遊びの見守り<br>26. 見守り（粗大運動以外）<br>27. 子どもどうしのやりとり<br>28. 保育者と子どものやりとり<br>29. あたたかな身体的関わり<br>30. 望ましいふるまいの導き |
| 6. 保育の構造 | 31. 日課と移行時間<br>32. 自由遊び<br>33. 集団での遊び                                                                          |

# 保育環境評価スケール幼児版

| サブスケール   | 項目                                                                                                                        |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 空間と家具 | 1. 室内空間<br>2. 養護・遊び・学びのための空間<br>3. 遊びと学びのための室内構成<br>4. ひとりまたはふたりのための空間<br>5. 子どもに関する展示<br>6. 粗大運動遊びの空間<br>7. 粗大運動遊びの設備・用具 |
| 2. 養護    | 8. 食事／間食<br>9. 排泄<br>10. 保健衛生<br>11. 安全                                                                                   |
| 3. 言葉と絵本 | 12. 語彙の拡大<br>13. 話し言葉の促進<br>14. 保育者による絵本の使用<br>15. 絵本に親しむ環境<br>16. 印刷（書かれた）文字に親しむ環境                                       |
| 4. 活動    | 17. 微細運動（手や指を使う）<br>18. 造形<br>19. 音楽リズム                                                                                   |

| サブスケール   | 項目                                                                                                                      |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 20. 積み木<br>21. ごっこ（見立て・ふり・つもり）遊び<br>22. 自然／科学<br>23. 遊びのなかの算数<br>24. 日常生活の中の算数<br>25. 数字の経験<br>26. 多様性の受容<br>27. ICTの活用 |
| 5. 相互関係  | 28. 粗大運動の見守り<br>29. 個別的な指導と学び<br>30. 保育者と子どものやりとり<br>31. 子どもどうしのやりとり<br>32. 望ましい態度・習慣の育成                                |
| 6. 保育の構造 | 33. 移行時間と待ち時間<br>34. 自由遊び<br>35. 遊びと学びのクラス集団活動                                                                          |



2024年度の取り組み

## 小規模保育園をのぞく市内認可保育園全園で実施

今年度の新たな取り組み

- ・各園にて年間2回を実施
- ・1回目と2回目の間に経過を持ち寄り振り返りと2回目に向けての情報交換を行う
- ・2回目終了後、変化等を含めた振り返りを実施

- ・ワーキンググループごとに他園のスケールに参加

全体のまとめ、保育の質の向上がわかる報告方法、次年度以降についての話し合いを実施

実施期間 2024年6月～2025年2月

|           |             |
|-----------|-------------|
| 第1回目の評価   | 2024年7月～10月 |
| 第1回目の振り返り | 2024年11月    |

|           |              |
|-----------|--------------|
| 第2回目の評価   | 2024年11月～12月 |
| 第2回目の振り返り | 2025年1月      |

まとめ 2025年2月

# ワーキンググループ

|       |                                               |
|-------|-----------------------------------------------|
| グループ① | 桜ヶ丘第一保育園・多摩保育園・ピオニイ第二保育園<br>みさと保育所・やまと保育園     |
| グループ② | あおぞら保育園・あすのき保育園・おだ認定こども園<br>こぐま保育園・関戸みどりの保育園  |
| グループ③ | かおり保育園・こばと第一保育園・バオバブ保育園<br>ゆりのき保育園            |
| グループ④ | あおぞらぱれっと保育園・かしのき保育園<br>のびのびっこ保育園・やまとさくら保育園    |
| グループ⑤ | おだ学園保育園・こころ保育園・バオバブ小さな家保育園<br>みどりの保育園・りすのき保育園 |



保育協議会 2024年度 保育士会  
新たな取り組み

## 今年度の新たな取り組み

ワーキンググループごとに他園のスケール実施の見学（参加）を入れる



同じ法人内の保育園同士は実施しているケースはあるが、法人を越えて他園の見学は初めての試みなので、スタイルは各グループに任せることとする

# 今年度の新たな取り組み

## ワーキンググループ①

### 検討会のみを見学

#### 検討会公開園

ピオニイ第二保育園・みさと保育所  
桜が丘第一保育園・多摩市立多摩保育園  
やまと保育園



他園からの職員を受け入れてスケール実施の現場職員の気づき

- ・ これまでは手探りで検討会を実施していたので、自分たちのやり方がいいのかわからなかったが、他園の検討会を見学したことで自分たちの検討会を見直すことができ、参考になることはすぐに取り入れた
- ・ 検討会だけよりも、保育観察から実施してほうがよかったと反省できた
- ・ 他園を見学したことで交流がしやすくなり、後日（別日）で環境設定などを見学させてもらった
- ・ 今後も他園との交流を深めていきたい

# 今年度の新たな取り組み

## ワーキンググループ②

### 1回めと2回めの見学園を変えて実施

#### 公開園

こぐま保育園・あおぞら保育園



他園からの職員を受け入れてスケール実施の現場職員の気づき

- ・子どもたちがリラックスできるようにクッションなどのやわらかいものがあるか、多文化を感じるものがあるかなどの視点を意識するきっかけになり、さらに環境を整えていくにあたって他園職員からの意見や「うちではこうしてるよ！」と実践例を聞くことができてとても参考になった
- ・自分たちの中で当たり前になってしまっていたことに対して、いつもと違う視点をもらえることで気づきが増えて、保育を振り返ることができてよかった
- ・園内だけで行う環境評価スケールとは異なり、他園のスケールに関する解釈や実践例を教えてもらえることで、スケールに対する考え方が深まった
- ・他園との職員との項目に対する意見交換の中で、自分の園の「強み」であったり、「改善点」が発見できる良い機会となった

## 今年度の新たな取り組み

## ワーキンググループ③

2回のうち1回を実施

公開園

ゆりのき保育園



他園からの職員を受け入れてスケール実施の現場職員の気づき

- ・子どもたちが主体的に遊んでいる姿や、生活面での自立した姿を評価してもらえたことが励みになった
- ・評価に入る人数も適正で、子どもたちも落ち着いて過ごすことができた
- ・他園の職員に評価に入ってもらえることはよかったが、現場職員も、他園の様子を知りたいと思った

# 今年度の新たな取り組み

## ワーキンググループ④

### 2回とも同じ園で実施

#### 公開園

かしのき保育園



他園からの職員を受け入れてスケール実施の現場職員の気づき

- ・他園の職員に客観的に観察してもらうことで、生活・遊び・活動等の様々な場面での子どもたちへの関わり方、声のかけ方、タイミング、一人ひとりに寄り添った関わり方について自分たちでは気づいていなかったことを改めて意識できる機会となった
- ・「良いところ」にも気づけて今後の励みにもなった
- ・クラスの保育者同士の連携も客観的にみてもらい、日頃から考えを共有し、言葉を交わしたり、アイコンタクトでコミュニケーションを取り合いながら、子どもたちが安心してすごせるようにさらに良い環境を作っていきたい
- ・今年度2回観察してもらったことで、環境評価スケールの観点を今後も意識して話し合い、連携しながら保育に活かしていきたい

# 今年度の新たな取り組み

## ワーキンググループ⑤

### 2回とも同じ園で実施

#### 公開園

みどりの保育園



他園からの職員を受け入れてスケール実施の現場職員の気づき

- ・ 普段、職員が連携して保育を行っていることを他園の職員に評価していただき、今後の保育の励みになった
- ・ 今回指摘されたこと（良いことも改善点も含めて）を職員間で共有し、今後の保育につなげていきたい
- ・ 他園の職員が目が入ったことで、当園ならではの環境に対しての指摘を受け、職員間での共通認識を深めながら、安全に気を配っていきたい



保育協議会 保育士会  
振り返り

他園の評価に参加したことで

- ・ 自園でやっていなかった取り組みを取り入れられた→検討会の持ち方・点数の出し方
- ・ 他園を見ることで視野が広がった
- ・ 自園の評価のみでは評価者の人数に限りがあるので、人数が揃い取りこぼしなく評価できた
- ・ 振り返り、良かった点、反省点など検討会を次へ生かす取り組みが参考になった
- ・ 改善に向けて、具体的に話し合うことができるので、改善のスピードがあがる
- ・ 保育士会担当者以外の自園のメンバーが他園の評価に参加することで自園で分かち合い職員に伝えることができた
- ・ 項目の絞り方がわかったので、自園で定期的に取り入れる見通しがたった

今年度の新たな取り組み

保育の変化について

- ・ 2回実施することで、1回目の評価を経て、環境の見直しが2回目ですっかり確認できた
- ・ 幼児クラスを乳児担任が評価に入ったことで、評価スケールのみだけでなく、お互いに他のクラスへの関心が広がった
- ・ 評価されたクラス側も担任の意見を述べながらも、抵抗なく受け入れていた
- ・ 言葉がけ（子どもとの応答的なやりとり）が学べた。
- ・ 改善のスピードアップ
- ・ 意見を出し合いながら、話し合いが行えた
- ・ 項目を絞ったことで、内容がより深められた

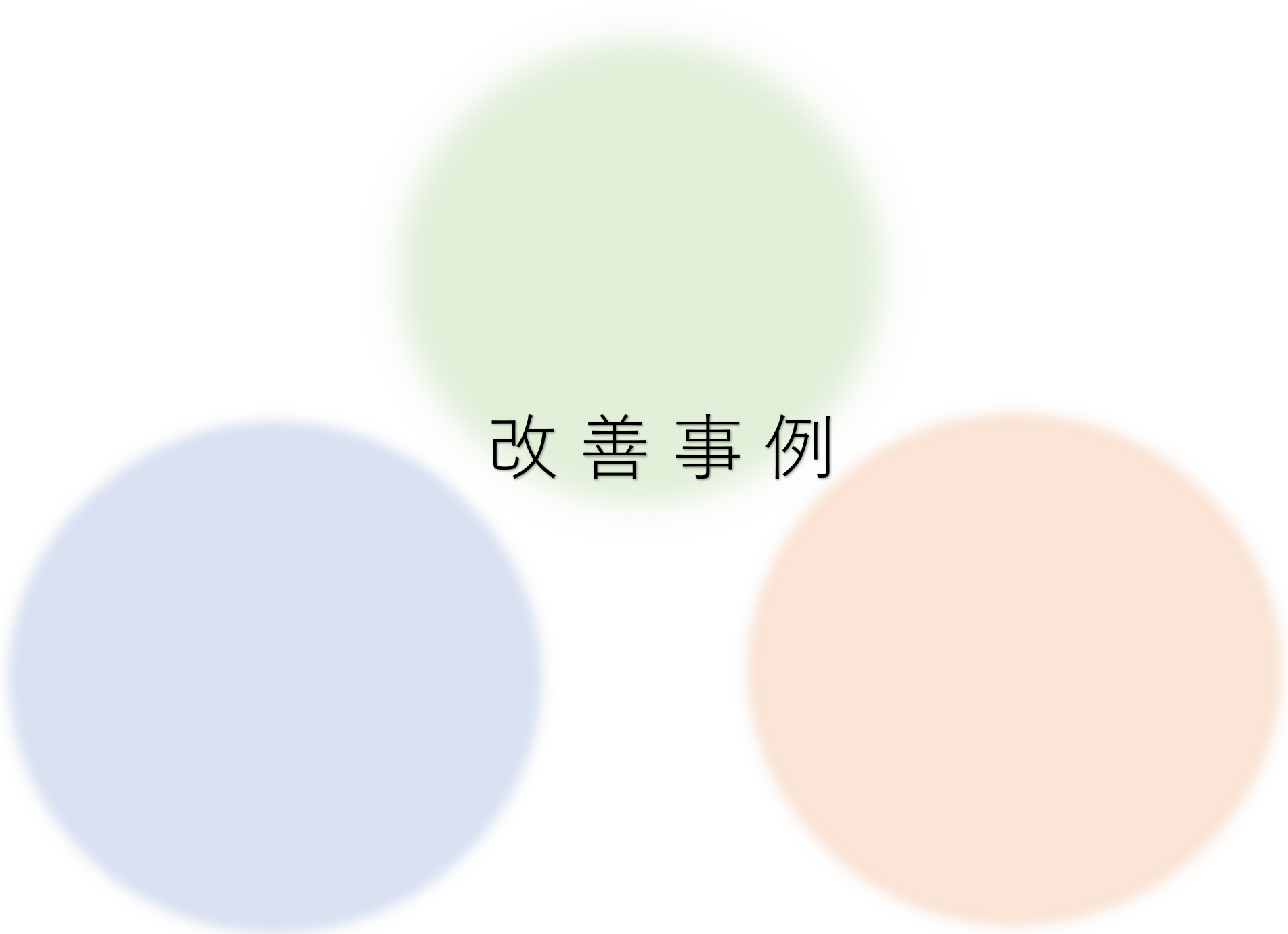
## **P**roblem 改善すべき問題点

### 回数を重ねていくための課題

- ・ 評価できる人を増やしていくこと
- ・ 園内での日程調整（時間をしっかりとることの難しさ）
- ・ 2回の評価を実施 → 同じクラスでの実施は、改善（変化）がわかりやすいという  
    メリットはあるが、2回やるのであれば他のクラスでもやってみたい
- ・ 他のワーキンググループのスケール実施の内容も知りたい
- ・ 他園の評価に参加したが、検討会でのみの参加であったので、保育も見る方が効果的だったのではないか（グループ①）

## Try 挑戦したいこと

- ・内容を深めるために、項目を絞っての評価にも挑戦したい
- ・もう一度、研修等を受講したい（保育士会メンバーにも受けてほしい）  
→保育士会メンバー以外の職員がしっかり学ぶことで園内のスキルもあがる
- ・今年度できたことをベースに続けていき、さらに評価できる職員を増やしたい  
→評価されることも学びになるが、評価する側にまわると、自分自身の保育への気づきも多い
- ・自園での評価を定期的に実施していきたい  
→続けていくことで園内に浸透し、効果もあがる



改善事例

## サブスケール1 ▶空間と家具 項目2 養護・遊び・学びのための家具

### 改善のポイント

- ・ こどもたちが自由に休憩する、横になれる場所がなかった。
- ・ いつも布団を出したり、個人コットを出していた。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ ジャンボクッションを出したことで、一人ひとりのタイミングで横になれるようになる。
- ・ 休む以外にも、ごっこ遊びや世話遊びでも使うことで、親しみやすくなった。

## サブスケール 1 ▶ 空間と家具 項目 3 遊びと学びのための室内構成

### 改善のポイント

今までも机上のコーナーは設定していたが様々な遊びが混在することがあったので製作用の机や絵本コーナーの壁などに表示を貼りそれぞれのコーナーをわかりやすく区切り落ち着いて遊べるようにした。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

設定をわかりやすくしたことで子どもたちがそれぞれのコーナーで落ち着いて遊ぶ姿が見られてよかった。

他にも玩具の収納の仕方を工夫したり静と動の空間を意識して設けることで過ごしやすくなったと感じている。



## 乳児版サブスケール 1 ▶ 空間と家具 項目 3 室内構成



### 改善のポイント

- 線路/電車とブロックのコーナーが隣り合っていた。
- 配置を見直し、電車とブロックのコーナーを独立させたところ、それぞれのスペースが広く確保され、遊びが大きく展開するようになった。
- 少人数でのコーナーになり、子どもたちがじっくりと遊び込めるようになった。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- 小さな工夫（変化）でも子どもたちの姿が変わることを実感した。
- 子どもたちの成長に合わせてその都度、環境を見直していくことが大切だと思った。
- 日々の保育で困っていることやもっと良くしていきたいことを保育者間で話し合い、共有していきたい。

## 乳児版サブスケール 1 ►空間と家具 項目 3 室内構成

### 改善のポイント

テーブルがある暮らしに慣れることができるように模様替えをしました。自分で食卓へ出入りできるようになり、食後も自分で歩いて着替えに向かう姿が出てきました。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・客観的な視点で保育環境を見直すことが出来ました。
- ・様々な角度から保育を見つめなおし、改善することで、子どもたちの姿に変化があり、定期的に見直しできるといいと思いました。

## 乳児版サブスケール1▶空間と家具 項目4 子どもに関係する展示

### 改善のポイント

1歳児クラスでは、季節に合わせた写真やイラスト、クラスの集合写真などを、沢山触っても良いようにファイルに入れて保護して掲示。身近な食材の写真では「たまねぎ」「これはなに?」「皆で皮むきしたよね」などと指をさしてじっくり見たり話題にしたりしている。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・担任同士で話し合う機会をもち、玩具や掲示物の入れ替えなど環境を整えるきっかけとなった
- ・スケールの項目をもとにすることで、改善ポイントが具体的に見えた
- ・数や色、大きさなどについても保育者が意識して働きかけることが増えた

## サブスケール 1 ▶ 空間と家具 項目 4 ひとりまたはふたりのための空間



### 改善のポイント

遊びコーナーでひとりまたはふたりのための空間づくりを作りました。遊びに集中できるよう前後・横に何もない環境の場を選びました。

その空間で遊びたい子どもが多い時に、スムーズに交代できるようタイマーを置きました。タイマーがあることで、保育士の声掛けがなくても子どもたちで意識し、交代できるようになりました。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・たくさんの視点からみたアドバイスやよかった点など意見がもらえ、評価が低くても理由を聞くと納得のできる内容だったので次はこうしてみようなどとイメージをもつことができた。
- ・自分のクラスでしている工夫とは別の視点の工夫が見られて勉強になった。

## サブスケール 2 ► 養護 項目 6 オムツ交換／排泄



### 改善のポイント

オムツ交換台が2か所あるが、今までトイレの中にオムツ入れが1つしかなかったため、すぐに捨てられなかったり、子どもを待たせてしまったりしていた。評価スケール後にオムツ交換台のそばに1つずつ設置し、すぐに捨てられるようにした。

また、夏のシャワーの後に人工芝にオムツを直接おいてしまっていたため、ビニール袋に入れて捨てるようにした。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

オムツ交換に対して、衛生面の意識が低かった。

改めて環境を見直し、「きれいになったね」「気持ちよくなったね」という言葉がけとともに、大人主導でどんどん進めてしまうのではなく、丁寧なかかわりができるように心がけている。

## 乳児版サブスケール3 ▶ 言葉と絵本 項目 10 語彙の拡大



### 改善のポイント

保育者と子どもとのやりとりはたくさんあるが、より語彙が拡大するような叙述的な言葉が豊富にあると良い…という評価を受けて、保育者自身の自己分析ができ、改めて自分の課題に気づいた。

そこで、子どもにもっと豊かな言葉かけや会話ができるように、意識づけや他の保育者の姿から学ぶきっかけになった。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 自分達の良い所やもっと取り組んだ方が良い所が明確に分かり、改善も直ぐに行える。
- ・ 検討会話し合いをすることで、みんなでより良い保育を考えていこうというスタンスで意見が深まり、それが保育の質を上げることに繋がると感じた。

## サブスケール3▶言葉と文字 項目 1 2 語彙の拡大

### 改善のポイント

- ・言葉掛け、言葉のやり取りをする時に今までより更に深く（ボール→赤い大きなボールなど）詳しく話すよう全員が意識するようになった。それにより、子ども同士や職員との会話も広がり語彙も増えるようになった。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・他クラスを客観的に見ることで言葉かけ・環境設定などを参考にすることが出来た。
- ・評価してもらうことで自分たちでは気づけない所を指摘してもらい、気づきや改善に繋がった。
- ・評価スケールを学ぶ事で自分のクラスの改善点などを見返すことが出来た。

## サブスケール 3 ▶ 言葉と文字 項目15 絵本に親しむ環境



### 改善のポイント

本を読むスペースで楽器や恐竜など動きのある遊びが近くにある、「本をくつろいで読む」ことが難しかった。そのため、図書館をイメージしテーブルとイスを設置し座ってゆっくり読めるように改善。また、静と動の遊びを分けるよう部屋の模様替えをし区切った。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

本を座って読むスペースもできたので椅子に座りじっくり読む姿が増えた。静かなスペースなので集中して読む子もいれば、他児とゆっくり読んでいる。まだ本の数や季節に合わせた本などが少ないので積極的に集めていきたいと思う。静と動の動きが混ざることも減ったので子どもたちも混乱が少ない。

## 乳児版サブスケール4 ▶活動 項目15微細運動



### 改善のポイント

- ・ 指先を使う微細遊びを増やしたくて、みつばちGに洗濯バサミを新たに出した。
- ・ 同じ色の所に挟めるような台紙も作ってみた。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 指先も器用になって来て上手に洗濯バサミを開くことが出来るようになってきた。
- ・ 「あか」「きいろ」等色を口にしながら同じ色の所に挟む姿も見られるようになってきた。
- ・ 遊びの中で洗濯バサミがだんだんと上手くなり、帽子も自分で挟もうとするようになってきた。

## 乳児版サブスケール 3 ▶言葉と絵本 項目14 絵本に親しむ環境

### 改善のポイント

前半は保育者が絵本を見せたり、渡すなどしていたが、絵本への興味・関心に伴い棚の中に並べ、自由に手に取れるようにした。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・子どもの興味や関心を持つものに対し、注意深く見る事ができるようになってきた。
- ・絵本を出してしまうだけの子もいるが、保育者が声をかけたり、友だちが読んでもらっている姿を見る事で次第に絵本を見る子が増えてきた。

## サブスケール 1 ▶ 空間と家具 項目 3 室内構成

改善前



### 改善のポイント

1つの部屋で食事をしていたが、2つの部屋を使って子どもを分散して食事をする。分散することで、子どもも落ち着き、大人も子ども一人ひとりが見やすくなった。

改善後



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・スケールを行う前は、1つの部屋で過ごすことが日常であったが、スケールを行いアドバイスをもらうことで違う視点が入り、新しい考えを持つことができた。

## サブスケール4 ▶活動 項目 15 微細運動



### 改善のポイント

- ・ 様々な場所に布を下げて、素材の違う物を室内に下げてもよい。
- ➡ 棚の裏側や立ち台に、着けたり外したりできるようにした。
- ・ 布の素材も、様々なものを用意した。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 腕を使った遊びができ、よかった。
- ・ 用意をすると、すぐに子ども達も興味を示し繰り返し遊んでいた。

## 乳児版サブスケール 4 ▶活動 項目 17 音楽・リズム

### 改善のポイント

- ・ 音が出るものがあるとよい。
- ➡太鼓を用意した。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 音の出るものが、少なかったので用意した。
- ・ 子どもたちも手で叩いたりと興味を示していた。



### 改善のポイント

- ・週1回のわらべうた活動を、日常の遊びの中でも興味を持てるように壁面にわらべうたの歌詞を貼った。今月は鳥の出てくるわらべうただったため、絵も付けた。
- ・毎月、わらべうたの歌詞や関連のある物を用意し、子どもたちがより関心を持ち楽しく音楽に触れることができるようにしたい。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・子どもたちは絵を指さしながら、わらべうたを歌い楽しんでいた。
- ・戸外で鳥を見たり図鑑を見ながら、わらべうたに出てくる鳥を探して観察する姿が増えた。
- ・壁面に貼ることにより、週1回の活動で終わりにならず、遊びの中でもわらべうたを歌うなど継続性や、鳥への興味関心もひろがっていった。

## 乳児版サブスケール4 ▶活動 項目19 ごっこ（見立て・ふり・つもり）遊び

### 改善のポイント



1歳児クラスではお人形を子どもに見立て、子どもたちは保育者になりきって遊ぶことを楽しむようになってきている。日常生活の中での保育者の言動を子どもたちはよく見ているので、子どもたちの手本になるような言葉遣いや、行動を心掛けるようにしたり、時には保育者が子ども役になったりしながら遊びを進めていくようにした。その後、子どもたちだけで役割を決め、ごっこ遊びをするようになった。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき



- ・子どもの遊びに保育者が入ることは遊びを見守るために大切なことであるが、子どもたちが遊び方を考え、子どもたちだけで遊びを展開する楽しさを知らせていくためには保育者が見守りに徹し、必要に応じて適切な助言、援助を行うことも大切だと感じた。

- ・すべての項目を一度に評価しようとするとう時間が足りなくなり、丁寧に見ることができないので、一つのサブスケールに絞って評価をすることがより良く観察できると思う。

## 乳児版サブスケール▶活動 項目 19 ごっこあそび

### 改善のポイント

1 回目は、ごっこあそびに必要な教材の種類が少なかったもので、「遊びが広がらない」との評価があった。チェーンなどをおさらに乗せるだけだった遊びから、ままごと用にテーブルやおんぶひも、手提げバッグ、スカートなどを出し、より活動的なごっこ遊びができるようにした。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・スケール評価を受けて、評価が低い部分に気づくことができて良かった。特にままごとコーナーに改善したことで遊びが広がった。
- ・はじめはままごと遊びを保育者とやり取りをして楽しんでいた子どもたちが、子ども同士でごっこ遊びをするようになった。



## 乳児版サブスケール4 ▶活動 項目 19 ごっこ遊び

### 改善のポイント

- ・ くまの人形だけなのは、なぜか？
  - ・ 人の人形があってもよいのではないか？
- ➡ ・ 0歳児の子ども達が、手に取った時に丁度良い大きさになるよう大きさにも配慮をした。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 手触りもよく、子どもたちは手に持ちながら歩いていた。
- ・ 人形がくまだけしかなかったことに、改めて気づくことができ、見直すことができた。

## 乳児版サブスケール4 ▶活動 項目19 ごっこ遊び



### 改善のポイント

- ・ 部屋の環境を見直し、棚やパーティションの配置で、各コーナーが分かりやすくなるようにした。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 遊びが分散されたことで、それぞれの遊びが混ざってしまうことがなくなった。  
そのため、体操のスペースを広くとれるようになった。
- ・ 違った視点で見てもらうことで、気づきが多くあった。  
子どもに対しての声かけも具体的に意識できるようになった。

## サブスケール4 ▶活動 項目20 積み木



### 改善のポイント

- ・ 構造遊びのコーナーに様々な種類の積み木や木レール、付属品を同じ棚に収納した。
- ・ いつでも好きな積み木を手にとれるようにした。
- ・ コーナーになっていることでじっくり取り組むことができる。
- ・ 年長児の作品を見て年少児も積み木に興味を示す。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 環境を整えることで子どもたちがイメージを膨らませ楽しむことができた。
- ・ 積み木遊びで数、高さ、量などの会話が増えた。
- ・ 積み木という活動を通じて空間と家具、話し言葉の促進、微細運動などスケールの観点が繋がっている。

## サブスケール4 ▶活動

## 項目21 ごっこ遊び



### 改善のポイント

- ・エプロンやジャケットなどの身近な衣装を揃えたことで、ごっこ遊びがよりイメージを持ってできるようになった。
- ・お寿司屋さんセットなど、子どもが自分で出し入れできる食材を増やした。  
→年長児はメニュー表を作成したり、椅子を並べ回転ずし屋を展開していた。
- ・多様性のぬいぐるみを置くようにした。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・客観的な視点で保育環境についての意見を聞いたことで、今のクラスでこういったことができるか担任間で話すきっかけになった。
- ・環境を見直し、子どもたちの遊びが変わっていく様子を見て、より良くしようと励みになった。
- ・評価スケールの色々な項目を改めて読み返してみることで、今のこどもたちに何が必要なのか、どうしたらより子どもたちの遊びや生活が豊かになるのか考えることができた。



## サブスケール4 ▶活動 項目 2 1 ごっこ遊び

### 改善のポイント

- ・子どもの使う遊具を、既製品や大人が作ったものだけでなく、子どもが作ったもので遊べるように工夫している。
- ・自分が作ったものや友達の作ったものは、より愛着を持って大切に扱っている。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・見てもらうことで、新たな視点を持つことができる。
- ・自分たちのやっている保育の改善点だけでなく、良い面も評価されることは、日々の励みになる。

## 乳児版サブスケール4 ▶活動 項目21 数・量・形

### 改善のポイント

丸・四角以外の形の遊具を用意したことで形への興味が増し、形分けをして遊んだり、高月齢児は三角を認識し、遊びの中で表現する姿が見られた。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・評価してもらうことで色々な視点で保育環境を考えることができた
- ・項目の中には実現させることが難しいと感じる項目もあったが、どういうことならできかを考えたり、相談しあうことはとても大切だと感じた
- ・半日の評価だとその時間帯には見られない姿もあり、継続して行うことでクラスの全体像が見えると思った

## サブスケール4 ▶活動 項目22 自然／科学



### 改善のポイント

自然コーナーができた。以前は他の活動場所と混ざりあったが1つ1つが独立しスペースの確保がされている。本、図鑑、ルーペ、地球儀、はかり等子どもが自由に使えるようになっている。戸外にも持ち出せるようにミニサイズの物を作ったりし活用していった。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

単独にすることで明確で分かりやすく子どもたちも以前より自然に興味が出てきている。調べたり実際にやってみたいなど具体的な言葉が聞かれ現在はどんぐりの種類別のマップを作る事になっている。



## サブスケール4 ▶活動 項目22 自然/科学

### 改善のポイント

- ・子どもの目線の高さに配置をした。（ざりがに）
- ・室内でいつでも観察ができる。通年で世話をすることで子どもの長期的な話題としていく。
- ・脱皮や死など生き物を身近に感じられるように掃除など子どもと一緒にいった。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・興味のある子とない子がいるがどちらもよい。
- ・ほかのクラスの子が見に来て進級したらやりたいと話していたのは良い影響が出ていると感じた。
- ・実際に近くにあることで匂い、温度などがあり図鑑だけでは学べないことが多くあった。

## サブスケール4 ▶活動 項目26 多様性の受容

### 改善のポイント

手に届く場所に多様性を示すものを配置した。  
他愛ない人形遊びから「アメリカってどこ？」と地球儀を回すことや、「どんな国だろう」と図鑑で見てみるなど発展性が持てるようにした。



### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・子どもたちは多様性を認めることはもともと身についていると感じた。失っていかないよう援助するのが目的である。
- ・たくさんの人がいることを知った子どもたちが自分たちで話題を広げるようになった。

乳児版サブスケール2▶養護 項目5食事

乳児版サブスケール4▶活動 項目20自然・21数量形

## 改善のポイント

近隣の菜園で年間15種類の野菜、果实的野菜を子ども達と栽培、収穫し調理をし給食として活用。

食育に活かす、スイカ割り・芋スタンプなど日常の保育、イベントなどに活用した。

野菜の種類：トマト、きゅうり、ナス、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、じゃがいも、イチゴ、ブロッコリー、ほうれん草、キャベツ、大根、人参

きゅうり、ゴーヤ、大根など100本以上収穫したので近隣住民、保護者に配布した。

## スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

・野菜って何？（どんな味・どこで作るの・どこにあるの・食べられるの・おいしいの）⇒子ども達の素朴な不思議に答えることが出来た。

・お店で販売している規格野菜、調理済野菜でない本当の姿を見せ興味、関心を持たせることが出来た。

・春夏秋冬、季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種から栽培、収穫、調理、食育を実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶として残すことが出来た。



## 乳児版サブスケール4 ▶活動 項目25 粗大運動遊びの見守り

### 改善のポイント

- ・ 室内から戸外へ出る時や入室時の大人の動線を整理した。
- ➡生活行為を丁寧に行うために見直した。
- ・ 大人本位の抱っこから、声を掛けてから抱っこする。

### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 普段、保育に入っていると気づかないことが、観察をすることで気づけた。
- ・ 観察を行ったことで、自分自身の声掛けの振り返りになった。
- ・ 大人の動線を整理したかったので、話し合えてよかった。

## サブスケール 5 ►相互関係

### 項目 3 0 保育者とこどものやりとり

### 項目 3 1 子ども同士のやりとり

#### 改善のポイント

・課題のある子に対しての関わり方が大人によって違ってしまったり、共有が難しいことがあったがスケールの内容を基に話しあい、報告することで対応を共有しやすくなったので、観察だけでなくスケールを基にした話し合いを必要に応じてクラス内で取り入れていけるようにする。

#### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

・他園で観察させてもらったことを持ち帰って、報告し、共有することでクラス内で再度サブスケールを基に確認や話し合いをして振り返る事が出来、客観的に分析できることができるようになった。  
・子どもの行動に対しての肯定的なやり取りを報告し合ったり、上手くいかなかったことを相談し合える環境が作れるようになった。

# サブスケール6▶保育の構造 項目31.日課と移行時間

りすぐみ

2025年3月

令和6年度 りす組

日 課 3月

|       | 早番                                                              | 中番                                                  | 遅番                                                | 補助職員   |
|-------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------|
| 7:30  | ・お尻拭き、お手拭き、台拭きなど<br>用意                                          |                                                     |                                                   |        |
|       |                                                                 | ・お茶を用意                                              |                                                   |        |
| 8:30  | ・パンダ組から移動人数に応じて二便で移動する<br>(エレベーターを使用し、要所で待ち椅子に座らせながら移動)         |                                                     | ※右手が手すり側。<br>必要に応じて大人が<br>手を支える。                  |        |
|       | ・活動室に入る前にトイレとお茶を済ませる                                            |                                                     |                                                   |        |
| 8:45  | ・活動の便を決める                                                       | ・人数表用意                                              |                                                   | 保育     |
| 9:15  | 1便準備開始→出発                                                       |                                                     |                                                   |        |
| 9:40  | 2便準備開始→出発 (パート)                                                 |                                                     | 朝礼・伝達                                             |        |
| 9:45  | 3便準備開始→出発                                                       |                                                     |                                                   |        |
| 10:05 | 4便準備開始→出発                                                       | 1・2便は、着替えとトイレの後、<br>空いている時や時間がある時は慣ら<br>しのためうさぎ組で遊ぶ |                                                   |        |
| 9:55  | 1便到着→着替え                                                        |                                                     |                                                   |        |
| 10:10 | 2便到着→着替え                                                        |                                                     |                                                   |        |
| 10:25 | 3便到着→着替え                                                        |                                                     |                                                   |        |
| 10:40 | 4便到着→着替え                                                        |                                                     | ・室内保育                                             |        |
|       | (手洗いの時間を考慮して準備が完全に終わる前に子どもを誘う)<br>(給食を提供する前に食事形態と体に合わせた椅子を用意する) |                                                     |                                                   |        |
| 11:00 | 給食準備                                                            |                                                     | ・S、K、N、S、Mは大人の左右に座っ<br>て食事をする。Fは大人の右または正<br>面に座る。 |        |
| 11:20 | S、S、F、T、M、M、R                                                   |                                                     |                                                   |        |
| 12:00 | R、K、K、K、T、H、                                                    |                                                     |                                                   |        |
| 12:25 | Y、n、H                                                           |                                                     |                                                   |        |
|       |                                                                 |                                                     |                                                   | 3便食事提供 |
| 12:20 | 休憩                                                              |                                                     |                                                   |        |
|       |                                                                 | 休憩                                                  |                                                   |        |

## 改善のポイント

日課の見直し。

子どもの見守りを強化できるように、職員の配置や活動から活動への移動の手順や待つ時間などを見直した。特に、食事の支援をする時に、部屋の安全面を考慮し、2便から3便に分けた。

スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

客観的な視点からの意見をもらえるので、自分達では気が付かないことを教えてもらえ、学びになりました。

日課が「大人都合」から「子どものため」に変わったことはとても大きな意味があると感じました。

## サブスケール 6 ▶ 保育の構造

### 項目 3 5 遊びと学びのクラス集団活動

#### 改善のポイント

・ 集団の活動を苦手とする子が多かったが少人数であそべる様々なゲームやわらべ歌などを大人と一緒に楽しむ機会を多くもてるようにしたことで自発的にゲームに参加したり、自ら発信して遊びを始める姿が見られるようになった。個々の発達にあったが遊びの内容を提供していけるようにする。

#### スケールを実施しての現場保育士の感想や気づき

- ・ 個々の発達にあった玩具や遊びについて相談することが増え、集団の活動の在り方や必要な玩具や遊びの提供について共有できるようになった。
- ・ 遊びの様子を自然に伝達し合える機会が増えた。



次年度へ向けて

# こんなこともやっていきたい！

- ・今年度公開した園以外も実施・他園のスケールに参加する機会をつくる
- ・他園の職員に参加してもらいたい
- ・保育士会以外の職員が他園の評価に参加する（2024年度一部実施あり）  
リーダー、主任以外の保育士の参加

- ・テーマをしばって評価する  
→テーマを絞り回数を多くし、評価者を増やす  
分析したことを共有し学びをより深める
- ・各園 スケールの実施を年間予定に組み込む
- ・普段の保育にも7スケールを常に生かす

今年度の新たな取り組みから